

〔書言字考節用集六〕生植〔トガ〕葉 梅ツグ

〔鹽尻十五〕一嵯峨集に、梅梅と字訓同じき事をいへり、湖海新聞にも梅を木母といひし、

〔萬葉集三〕雜歌〕登神岳山部宿禰赤人作歌一首并短歌

三諸乃神名備山爾、五百枝刺繁生有都賀乃樹乃、彌繼嗣爾玉葛、絶事無在管裳、不止將通、明日香能、

フルキミヤコハ 舊京師者、○下

〔萬葉集古義品物解三〕つがのき 樛木 都賀乃樹○中

後世梅ノ字を書て登我と呼物是なるべし、○中 冠辭考に、都賀は黃楊ツグの事ならむと云るはいかゞ、

黃楊は都宜とのみ古より云て、都我と云る例なきをや、

〔大和本草十二〕雜木〕二 梅 葉ハモミノ如クニジテコマカナリ、葉兩ニツカル、事モミノ如シ、榧モミナ

ドハ皆葉上ニ向ベリ、コレハ上ニ向ハズ、葉ミジカク枝小ナリ、葉ノサキブレタリ、ウラニ又葉付

ケリ、大木アリ、板ニシテモミノ木理ノ如シ、本邦ニ昔ヨリ梅ノ字ヲトガトヨム、出處未詳、一種葉

ノ鋒ワレズ、葉短小枝柔ナルアリ、

〔大和本草十一〕圖木〕虎ノ尾 佳木ナリ、一名竹杉ト云、皆國俗ノ所名也、日向霧島山ニ多シ、葉ハ松ニ似

テ大ニシテ短シ、味モ少松ニ似タリ、葉シゲキ事亦松ニ似タリ、葉ノ鋒尖レリ、有大毬長數寸、松カ

サニ似テ長大ナリ、松類也、此樹如檜及羅漢松、可爲器材、其木理佳材也、爲宮爲捲並可也、又樅キニモ

虎ノ尾モミアリ、與此不同、

竹杉